

そのおき

第77号
園沖公民館
発行：中村 恵一

皆さんが

「集い・学び・縁を

結ぶ」公民館活動に



自治会長
荒井 訓夫

令和5年度、自治会長を仰せつかりました1ブロックの荒井訓夫です。

約10年ぶり…

10年ほど前に会長を経験、再度、園沖の自治会長として推薦いただきましたら、安茂里住民自治協議会の会長の大役も仰せつかりました。微力ではありますが、地域の皆さんのお役に立てるよう努めて参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

3年ぶりに動き出す

5月に新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、3年ぶりに少しずつではありますが

以前の活動が再開されてきております。各地区においても人の集まる行事も行われつつありますし、園沖区の公民館行事も少しずつ再開され、楽しく子ども達が集まる秋の行事も良いのではないかと思ひ楽しみにしています。

人とのつながりを大切に

毎年のように全国各地で台風の影響による災害をニュースなどで拝見しますと、より一層「人と人のつながり、人と地域のつながり」がとても大切になってきています。

安茂里地区一体は「犀川・裾花川」に囲まれ、土砂災害警戒区域に指定され、15の沢

があり災害と隣り合わせの感じがあります。我が園沖も両側に権現沢と蟹沢があり、ハザードマップを見ると「イエローゾーン」があります。万一災害が起こると、ご近所同士を支え合いの力が必要にな

行事再開の 難しさを知る

12年ぶりの大役

荒井自治会長が10年ぶりという事で、私も12年ぶりに館長をやらせていただくことになりました。

自分のやりたいように

12年ぶりですが、勢年団の一員として毎年、公民館活動には何らかのカタチでお手伝いをさせていただきました。しかし、令和2年から昨年までの三年間、「新型コロナウイルス」の感染拡大により行事が行われない状況になりましたが、今年の5月から感染

ります。

安全・安心なまちづくり

自治会と公民館、各種団体が連携して、また「園沖助け愛ネットワーク」は、各種団体の補完をするカタチで



公民館長
中村 恵一

分類が引き下げられ、行事も再開できるようになりましたが、内容をどうしたら良いのか？ との状況になったのですが、前自治会長の松本さんから「自分のやりたいようにやってみたら」との助言をいただき、それならと、色々と替えてはみたのですが、

夏祭りは諸般の事情により「中止」にせざるをえなくなりました。楽しみにしていた下さった方々には、申し訳なく思っております。

新たな苦悩

コロナの感染対策が下がっ

連携を取って安心・安全なまちづくりを実現するための活動をしていきますので、何卒ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。
公民館の今後の益々のご発展をお祈りします。

たとはいえ、「終息」したわけではありません。長野県では8月以降、感染者が増加傾向にあります。そんな中、秋からの行事をどうするのか、ある意味難しい選択に迫られています。

昨年までは、「コロナだから行事の中止も仕方がない」との考え方が多数だったと考えられます。しかし、今年の5月からは、まだ心配で慎重になつている人もいれば、すでに感染リスクも減つたし、コロナ前と変わらない生活をしていく。という意見もあります。

様々な制限はありますが、多くの区民の皆さまに愉しんでいただける行事内容にしようと、役員の皆様と知恵を出し合い、良い行事にしていきたいと思っております。

安茂里地区「スポーツの祭典」

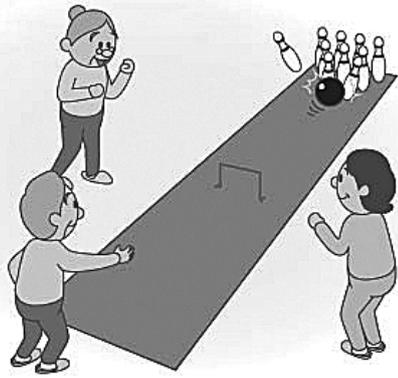
「スマイルボウリング」の

楽しさを知る！

5月28日(日)、「安茂里地区スポーツの祭典」が開催され、園沖地区からは「スマイルボウリング」と「ノルディックウォーキング」に参加いたしました。スマイルボウリングの結果は、チームが健闘して3位でした。

館長の私は、スマイルボウリング審判員として、お手伝いさせていただきます。

このスポーツを間近で見ると、ルールも初めて知りましたが次第に慣れてくると楽しさが伝わってきます。



それぞれの地区の中にベテランの方がいて、初心者の方に丁寧に「コツ」を伝授していました。ベテランの方の投球はさすがにお上手でした。子どもから高齢者まで、どなたでも取り組めるスポーツです。来年は、皆さんも出場してみたいかがですか。



安茂里住民自治協議会の荒井会長



松本さんから、優勝カップの返還

防災訓練

「関東大震災から百年目」

過去の教訓から何を学ぶのか？

9月3日(日)、「防災訓練」が長野市消防局、長野市消防団の協力のもとで開催されました。

◆「防災の日」とは：

1923年(大正12)の9月

1日に発生した「関東大震災」で、多くの犠牲者を出したことから、1960年(昭和35)に国会の閣議で、広く国民が地震などの災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備するために制

定された防災啓発デーです。今年、関東大震災が発生してから百年目の節目にあたり、各メディアでは、8月下旬からテレビやラジオ、雑誌などで特集が組まれていますので、ご覧にならないでしょうか？ この機会に、いま一度、災害が起きたらどうするかを考えてみませんか。



◆「自助・共助・公助」…

防災訓練の当日に、防災指導員の資格をお持ちの加藤一城さんからも話がありました。が、改めて説明いたします。

「自助」とは、一人ひとりが自ら取り組むこと。「共助」とは、地域や身近にいる人どうしと一緒に取り組むこと。「公助」とは、国や地方公共団体が取り組むこと。

自助と公助には限界があります。そこで重要になるのが地域住民の「助け合い」だと思います。

◆「備えあれば憂いなし」

「天災は、忘れたところにやってくる」これは、科学者で随筆家の寺田寅彦の言葉です。彼は、1933年に発表した



『津波と人間』の書籍の中でこんな言葉を残しています。「こういう災害を防ぐには、人間の寿命を十倍か百倍に延ばすか、ただしは地震津波の週期を十分の一か百分の一に縮めるかすればよい。そうすれば災害はもはや災害ではなく五風十雨の亜類となつてしまふだろう。しかしそれが出来ない相談であるとするれば、残る唯一の方法は人間がもう少し過去の記録を忘れないように努力するより外はないであろう」。

降雨や降雪は、技術の発展で、今では正確な予報が出ますが、地震がなぜ起こるかというメカニズムは解明されていませんが、予知は難しい状況です。

ですから、各家庭で、過去の大きな災害はどうして起きたのか、また、どのような行動をとったのかを学び、定期的に避難経路の確認などを予習しておくことも大事になってくると思います。

◆「訓練」は大切…

「訓練」をいくらしても、い

ざ大きな災害が起きたときに冷静な判断が出来るのか？と考えますが、日頃から「自助・共助」の意識を地域コミュニティに根付かせ、地域防災力を向上させることで自然災害から多くの命を守ることにつながります。

1995年1月に発生した「阪神淡路大震災」では、人命救助の主体は消防・警察・自衛隊による「公助」よりも、

家族や近隣住民を中心とした「自助・共助」が中心だったといわれています。

防災訓練の目的の一つは、「自分たちのまちは自分たちで守る」というスローガンに基づき、自助・共助の意識を成熟することです。多くの方が防災訓練に参加することで、安心・安全な生活を守ることにつながるのではないのでしょうか。また、関東大震災とは

コラム 「共助」の一端を担う公民館活動

●「公民館活動」とは

文部科学省のホームページでは、「市町村が設置する」とされ、定期講座の開設や討論会・講習会・講演会などの開催、図書・記録・模型・資料などを備え、その利用を図ること、体育・レクリエーションなどに関する集会の開催、各種団体・機関などとの連絡、その施設を公共的に供することなどを行うとされています。

●「愉しみから生まれる連帯感」

そんな「公民館」ですが、様々な行事を開催しています。行事に参加することで、コミュニケーションをとることで、色々なことが分かり理解を深めることになると思っ

どんな災害だったのか。過去の災害から学ぶことも多いと思います。



います。顔と名前が分かる、いざという時に助け合う行動になると考えます。

今後も公民館活動に積極的に参加してください。また、参加してみたい。そんな行事内容も考えていかなければいけません。



園沖夏まつり 研修旅行

苦渋の決断

「今年度の行事を少しづつ変えていこう」との思いでスタートしましたが、「夏まつり」は、この夏の酷暑と諸般の事情により開催間際で中止という判断をさせていただきました。愉しみにお借りした方々には、紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

そんな中でも「花火だけはやりたい」との要望があり開



催いたしました。

来年度は、別の方々が公民館役員として、がんばってくださると思います。

また、毎年9月に開催していましたが「研修旅行」ですが、最近、コロナの感染者が増加している中で参加者の募集を募り、あまり集まらなかった場合、一人あたりの費用負担が多くなりかねない。そんなことから、こちらも中止という判断をさせていただきます。申し訳ございません。

今後の主な行事予定

◆小市四地区運動会

毎年、松ヶ丘小学校のご協力のものと9月下旬に開催していますが、今年は、小市地区のスケジュールが合わないために中止になります。

来年以降の開催は、今後の各地区の公民館役員に委ねられますが、各地区の住民が高齢化と少子化により、選手集めに苦勞されていることは聞いています。

◆文化祭

1年おきに開催されていましたが、今年開催になりました。夏祭りを中止にしましたので、内容を吟味しまして、11月の「文化の日」の周辺で開催を予定しています。

9月中旬に内容を決め、10月中旬に案内を皆様にお届けするようにいたします。

◆しめ縄作り講習会

一年を締めくくる行事になります。自分で作ったしめ縄で年越しをするのも良いものです。12月中旬の開催を予定しております。多くの参加者をお待ちしております。

◆どんど焼き

年が明けまして、最初の行事になります。この行事は1月の小正月に行われ、お正月の縁起物をお焚き上げしたり、お餅を焼いて食べたりする火祭りです。地域によっては、「道祖神祭りや三九郎」などとも呼ばれています。

◆焼き芋大会

この行事は、園ねつとの主催になりますが、公民館も協力しています。

肌寒い時期のほかほかの焼き芋の味は格別ですね。昨年は、多勢の方々に参加をいただいたと伺っています。

今年も10月に開催を予定しています。

◇安茂里地区の行事（予定）

◎第49回安茂里

スポーツの祭典

6月にも開催されましたが、10月15日(日)に、種目を変えて開催されます。(雨天の場合は10月22日(日)に順延。種目は、マレットゴルフ、ソフトバレーになります。

◎10月：アモーレフェスタ

◎11月：福祉バザー

◎24年1月：成人式

今年度の公民館役員

- 館長 中村 恵一
- 総主事 吉田 祥男
- 会計 滝沢 和紀
- 体育部 安芸 昌史
- 広報部・教養部 西澤真理子
- 企画部・文化部 関 美佐子

編集後記

館報『そのおき』第77号を、無事お届けすることができました。

今年の夏は、7月から記録的な酷暑が続きました、この館報の原稿をまとめている9月初旬になっても、依然として連日30度近くの気温が続いています。さらに、各地で「記録的短時間大雨」による災害も起きています。こういった自然災害は今年だけではなく、今後もさらに続くことになりそうです。皆さまご自愛ください。

今後も、公民館活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いたします。(編集委員)